

DWS グローバル公益債券ファンドDC

Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）

追加型投信／内外／債券 交付運用報告書

第7期（決算日：2019年4月22日）
作成対象期間（2018年4月21日～2019年4月22日）

第7期末（2019年4月22日）	
Aコース（為替ヘッジあり）	
基準価額	11,086円
純資産総額	45百万円
第7期 （2018年4月21日～2019年4月22日）	
騰落率	1.1%
分配金合計	0円

第7期末（2019年4月22日）	
Bコース（為替ヘッジなし）	
基準価額	15,891円
純資産総額	13百万円
第7期 （2018年4月21日～2019年4月22日）	
騰落率	4.1%
分配金合計	0円

（注）騰落率は収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

■受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「DWS グローバル公益債券ファンドDC Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）」は、2019年4月22日に第7期の決算を行いました。当ファンドは、世界各国の公益企業・公社が発行する債券を主要投資対象とし、インカム・ゲインの獲得と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。右記＜お問い合わせ先＞ホームページの「トップページ」→「投資信託」→「運用報告書一覧」のページにおいて運用報告書（全体版）を閲覧及びダウンロードすることができます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社
東京都千代田区永田町 2-11-1 山王パークタワー

＜お問い合わせ先＞

電話番号：03-5156-5108

受付時間：営業日の午前9時～午後5時

<https://funds.dws.com/jp/>

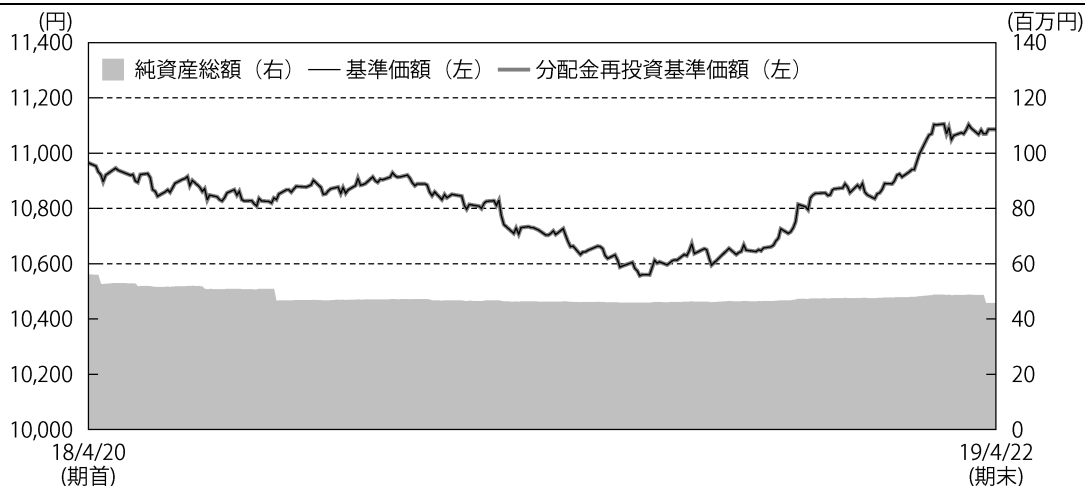
*お取引内容等につきましては、ご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

【Aコース（為替ヘッジあり）】

■基準価額等の推移について

(2018年4月21日～2019年4月22日)



第7期首：10,965円

第7期末：11,086円（既払分配金0円）

騰落率：1.1%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、上記対象期間中の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■基準価額の主な変動要因

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、世界各国の公益企業・公社が発行する債券を主要投資対象とし、インカム・ゲインの獲得と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。米国や欧州（ドイツ）の10年国債利回り（長期金利*）の低下（価格は上昇）や、保有債券のクーポン収入が基準価額の上昇要因となりました。

*金利：債券価格は金利変動の影響を受けます。一般的に金利が低下した場合には債券価格は上昇し、逆に金利が上昇した場合には債券価格は下落する傾向があります。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当 期 2018年4月21日～2019年4月22日		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	117円	1.086%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は10,812円です。
(投 信 会 社)	(56)	(0.521)	委託した資金の運用等の対価
(販 売 会 社)	(56)	(0.521)	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受 託 会 社)	(5)	(0.043)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (先物・オプション)	0 (0)	0.002 (0.002)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	15 (4)	0.136 (0.033)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用・印刷費用等)	(11)	(0.104)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用や目論見書や運用報告書の作成に係る費用等
合 計	132	1.224	

(注) 期中において発生した費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料及びその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注) 監査費用・印刷費用等にはマイナス金利に係る費用等を含みます。

■最近5年間の基準価額等の推移について

(2014年4月21日～2019年4月22日)



(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、上記対象期間中の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

	2014年4月21日	2015年4月20日	2016年4月20日	2017年4月20日	2018年4月20日	2019年4月22日
基準価額 (円)	10,380	10,982	10,673	10,986	10,965	11,086
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	5.8	△2.8	2.9	△0.2	1.1
純資産総額 (百万円)	42	50	48	46	56	45

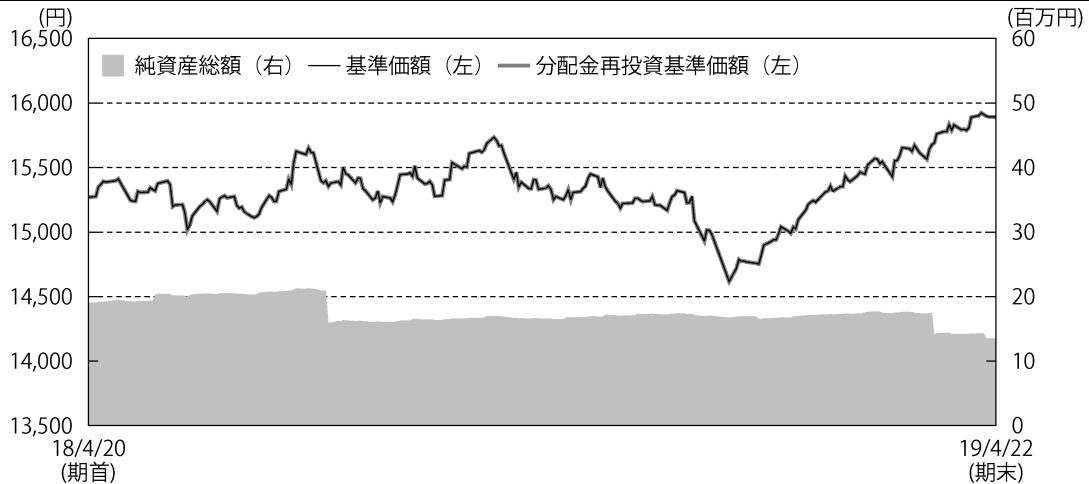
- 当ファンドは、DWS グローバル公益債券マザーファンドへの投資を通じて、主に世界各国の公益企業・公社が発行する債券に投資し、インカム・ゲインの獲得と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行うことを基本としております。そのため、ファンドの収益率を測る適切なインデックスが存在せず、ベンチマーク及び参考指数を設けておりません。

運用経過

【Bコース（為替ヘッジなし）】

■基準価額等の推移について

(2018年4月21日～2019年4月22日)



第7期首：15,270円

第7期末：15,891円（既払分配金0円）

騰落率：4.1%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、上記対象期間中の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■基準価額の主な変動要因

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、世界各国の公益企業・公社が発行する債券を主要投資対象とし、インカム・ゲインの獲得と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。米国や欧州（ドイツ）の10年国債利回り（長期金利*）の低下（価格は上昇）や、保有債券のクーポン収入が基準価額の上昇要因となりました。さらに、為替市場において米ドルが円に対して上昇したこともプラスとなりました。

*金利：債券価格は金利変動の影響を受けます。一般的に金利が低下した場合には債券価格は上昇し、逆に金利が上昇した場合には債券価格は下落する傾向があります。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	2018年4月21日～2019年4月22日		
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	166円	1.086%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は15,324円です。
(投 信 会 社)	(80)	(0.521)	委託した資金の運用等の対価
(販 売 会 社)	(80)	(0.521)	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受 託 会 社)	(7)	(0.043)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	0	0.002	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(先物・オプション)	(0)	(0.002)	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) そ の 他 費 用	17	0.114	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.010)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用・印刷費用等)	(16)	(0.104)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用や目論見書や運用報告書の作成に係る費用等
合 計	183	1.202	

(注) 期中において発生した費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料及びその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

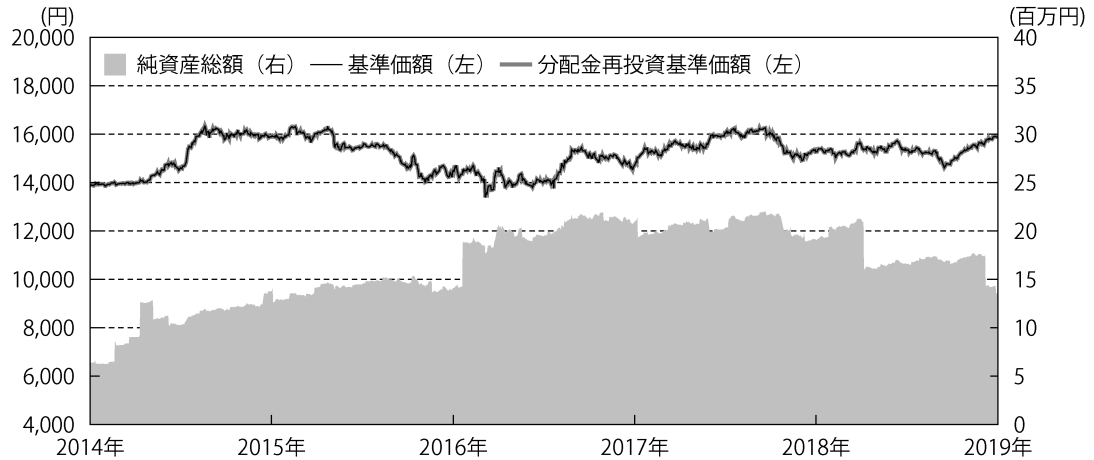
(注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注) 監査費用・印刷費用等にはマイナス金利に係る費用等を含みます。

■最近5年間の基準価額等の推移について

(2014年4月21日～2019年4月22日)



(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、上記対象期間中の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

	2014年4月21日	2015年4月20日	2016年4月20日	2017年4月20日	2018年4月20日	2019年4月22日
基準価額 (円)	13,879	15,905	14,463	14,694	15,270	15,891
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	14.6	△9.1	1.6	3.9	4.1
純資産総額 (百万円)	6	13	14	20	19	13

- 当ファンドは、DWS グローバル公益債券マザーファンドへの投資を通じて、主に世界各国の公益企業・公社が発行する債券に投資し、インカム・ゲインの獲得と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行うことを基本としております。そのため、ファンドの収益率を測る適切なインデックスが存在せず、ベンチマーク及び参考指数を設けておりません。

■投資環境について

(2018年4月21日～2019年4月22日)

主要先進国の長期金利は米国、欧州ともに低下しました。米国では、税制改革等が後押しとなり景気回復が続いたことや、米連邦準備制度理事会（FRB）の利上げ継続観測を背景に、長期金利は一時3.2%を上回りました。その後は米国株が大幅に下落したことや、利上げペースが減速するとの見方が強まり低下しました。欧州では、欧州中央銀行（ECB）の金融緩和策が長期化するとの見方に加え、イタリアの政局不安や英国の欧州連合（EU）離脱交渉の不透明感等が長期金利の低下要因となりました。社債市場では、世界景気の減速懸念を背景にリスク資産全般が売られた影響から、世界の投資適格社債の代表的な指数であるブルームバーグ・バークレイズ・グローバル総合（除く日本）・社債インデックスのスプレッド*は2018年末にかけ大幅に拡大しましたが、その後市場のリスク選好の強まりとともに拡大幅を縮小しました。一方で、金利が低下したことから、リターンはプラスとなりました。

■当該投資信託のポートフォリオについて

(2018年4月21日～2019年4月22日)

【Aコース（為替ヘッジあり）】／【Bコース（為替ヘッジなし）】

当ファンドでは当初の運用方針通り、マザーファンドへの投資を通じて、世界各国の公益企業・公社が発行する債券を主要投資対象とし、インカム・ゲインの獲得と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。

（DWS グローバル公益債券マザーファンド）

当ファンドでは当初の運用方針通り、世界各国の公益企業・公社が発行する債券を主要投資対象とし、インカム・ゲインの獲得と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。

国別では、相対的に力強い景気回復が見込まれる米国や、欧州を中心とした配分を継続しました。投資行動としましては、魅力的な水準で発行された新発債のほか、市場のスプレッド拡大を受け割安感のでてきた既発債を購入するなどしました。国別では、地政学リスクによる影響、各国の政治・経済動向等を勘案して選択的な投資を行い、EU離脱を巡る不透明感がある英国の配分をやや削減する等しました。金利戦略につきましては、米国の追加利上げが見込まれたことから金利上昇リスクを勘案し米国公債先物の売り建てを継続しましたが、2019年に入り金利上昇リスクが和らいだを見て、売り建て割合を削減しました。

■ベンチマークとの差異について

(2018年4月21日～2019年4月22日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークや参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

*スプレッド：主に主要国債（先進国国債など）利回りとの利回り格差のことで、発行体の信用力や流動性等の影響を受けます。一般的に、信用力が高まればスプレッドは縮小（価格の上昇要因）し、信用力が低下すればスプレッドは拡大（価格の下落要因）する傾向があります。

■分配金について

【Aコース（為替ヘッジあり）】

基準価額水準等を勘案して、分配は行わないことといたしました。なお、留保された収益金につきましては、当ファンドの運用の基本方針に基づき運用させていただきます。

【分配原資の内訳】

（1万口当たり・税引前）

	当 期
	2018年4月21日～2019年4月22日
当期分配金	－円
（対基準価額比率）	－%
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	2,285

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金（税引前）と一致しない場合があります。

【Bコース（為替ヘッジなし）】

基準価額水準等を勘案して、分配は行わないことといたしました。なお、留保された収益金につきましては、当ファンドの運用の基本方針に基づき運用させていただきます。

【分配原資の内訳】

（1万口当たり・税引前）

	当 期
	2018年4月21日～2019年4月22日
当期分配金	－円
（対基準価額比率）	－%
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	6,054

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金（税引前）と一致しない場合があります。

今後の運用方針

【Aコース（為替ヘッジあり）】／【Bコース（為替ヘッジなし）】

当ファンドでは引き続き当初の運用方針通り、マザーファンドへの投資を通じて、世界各国の公益企業・公社が発行する債券を主要投資対象とし、インカム・ゲインの獲得と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

（DWS グローバル公益債券マザーファンド）

当ファンドでは引き続き当初の運用方針通り、世界各国の公益企業・公社が発行する債券を主要投資対象とし、インカム・ゲインの獲得と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

米国では、主要中央銀行がハト派姿勢を示していることから、目先は長期金利に低下圧力が働くと考えています。しかしながら、米国の経済は概ね良好と見ており、中長期的には長期金利は上昇すると予想しています。欧州ではECBによる低金利環境の継続姿勢の継続を背景に、金利は低位での推移が続くと見えています。また、EU離脱に関連した動向等も金利上昇の抑制要因になるものと考えています。社債市場は、年初来の良好なパフォーマンスを踏まえ割高感も意識されており、目先は上値が重い展開を予想され、米中貿易問題への不透明感も市場の重石になる可能性があります。一方で、中期的には企業業績が概ね良好となっていることや、主要中央銀行の緩和的な金融政策姿勢を背景に、社債の相対的に高い利回りへの需要が高まると考えられます。運用方針としましては、魅力的な水準で取引されている債券の組み入れを検討します。また、金利戦略につきましては、ポートフォリオの金利リスクを中長期的にある程度抑えるためデュレーション*を調整していく方針です。

*デュレーション：金利変動に対する債券価格の変動性を示します。一般的にデュレーションが長いほど金利変動に対する価格の変動が大きくなります。

お知らせ

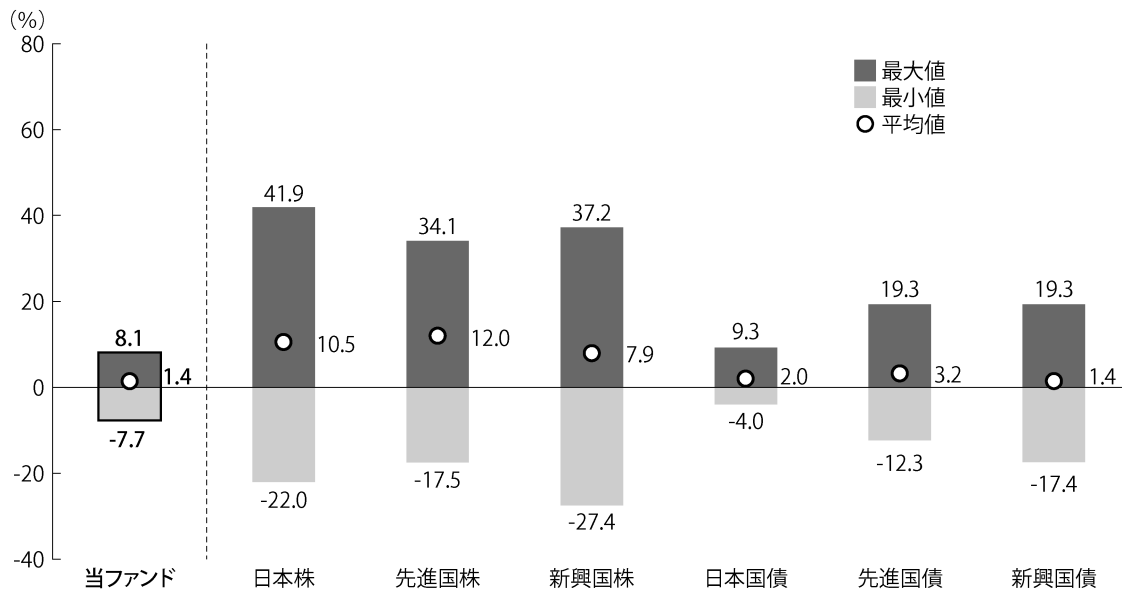
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	インカム・ゲインの獲得と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	DWS グローバル公益債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	DWS グローバル公益債券マザーファンド	世界各国の公益企業・公社が発行する債券を主要投資対象とします。
運用方法	主としてDWS グローバル公益債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主に世界各国の公益企業・公社が発行する債券に投資を行い、インカム・ゲインの獲得と信託財産の中長期的な成長を目指します。実質外貨建資産については、Aコース（為替ヘッジあり）については、原則として対円での為替ヘッジを行います。Bコース（為替ヘッジなし）については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。	
分配方針	<p>毎決算時（原則として毎年4月20日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日。）に、原則として以下の方針に基づき収益分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、経費等控除後の繰越分を含めた利子・配当収益と売買益（評価益を含みません。）等の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。</p> <p>③留保益の運用については、特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき元本部分と同一の運用を行います。</p>	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較 (2014年4月末～2019年3月末)

【Aコース (為替ヘッジあり)】



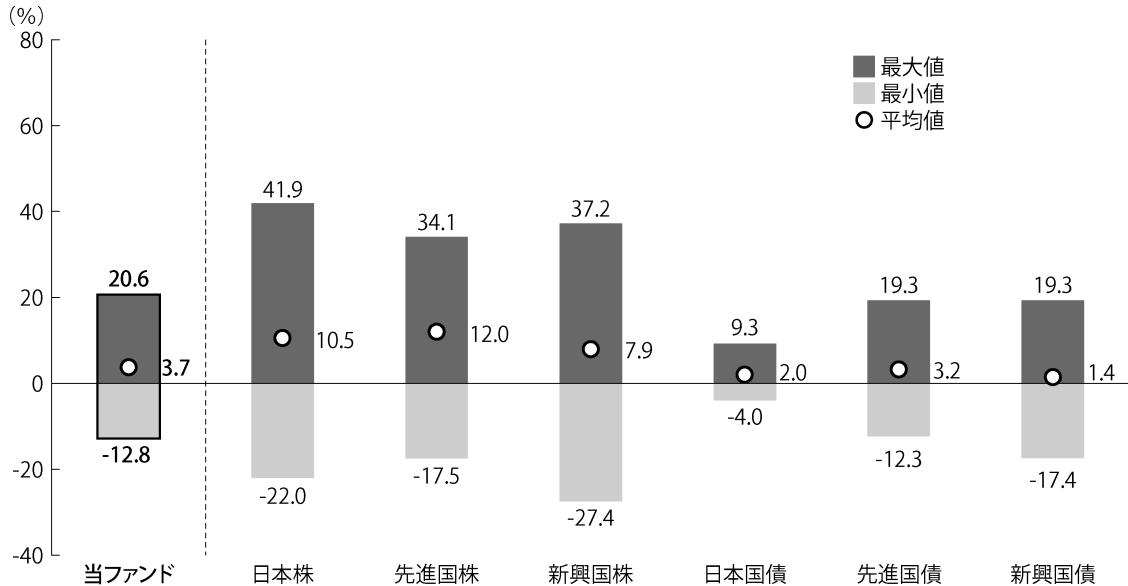
(当該ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率及び最小騰落率 (%))

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	1.4	10.5	12.0	7.9	2.0	3.2	1.4
最大値	8.1	41.9	34.1	37.2	9.3	19.3	19.3
最小値	-7.7	-22.0	-17.5	-27.4	-4.0	-12.3	-17.4

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

【Bコース（為替ヘッジなし）】



(当該ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率及び最小騰落率 (%))

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	3.7	10.5	12.0	7.9	2.0	3.2	1.4
最大値	20.6	41.9	34.1	37.2	9.3	19.3	19.3
最小値	-12.8	-22.0	-17.5	-27.4	-4.0	-12.3	-17.4

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

*2014年4月～2019年3月の5年間における年間騰落率の平均・最大・最小を、当該ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

*各資産クラスの指数

日本株：TOPIX（配当込み）

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

(注) 先進国株、新興国株、先進国債及び新興国債の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

各資産クラスの指数について

- T O P I X（東証株価指数）は、株式会社東京証券取引所（以下「東証」といいます。）の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用等株価指数に関するすべての権利は、東証が有しています。東証は、T O P I Xの算出もしくは公表の方法の変更、T O P I Xの算出もしくは公表の停止またはT O P I Xの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。
- M S C I コクサイ・インデックス及びM S C I エマージング・マーケット・インデックスは、M S C I インク（以下「M S C I」といいます。）が算出する指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はM S C I に帰属します。また、M S C I は同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。
- N O M U R A - B P I は、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社はN O M U R A - B P I を用いて行われるドイチェ・アセット・マネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切の責任を負いません。
- F T S E 世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数です。同指数に関する著作権、知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。
- J P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイドは、JPMorgan Chase & Co.の子会社であるJ.P.Morgan Securities LLC（以下「J.P.Morgan」といいます。）が算出する債券インデックスであり、その著作権及び知的所有権は同社に帰属します。J.P.Morganは、J P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド及びそのサブインデックスが参照される可能性のある、または販売奨励の目的でJ P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド及びそのサブインデックスが使用される可能性のあるいかなる商品についても、出資、保証、または奨励するものではありません。J.P.Morganは、証券投資全般もしくは本商品そのものへの投資の適否またはJ P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド及びそのサブインデックスが債券市場一般のパフォーマンスに連動する能力に関して、何ら明示または黙示に、表明または保証するものではありません。

ファンドデータ

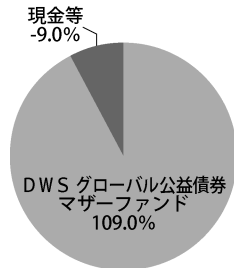
【Aコース（為替ヘッジあり）】
■当ファンドの組入資産の内容

◆組入上位ファンド

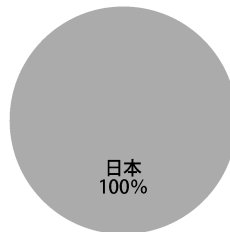
項 目	第7期末
	2019年4月22日
DWS グローバル公益債券マザーファンド	109.0%

（注）組入比率は純資産総額に対する割合です。

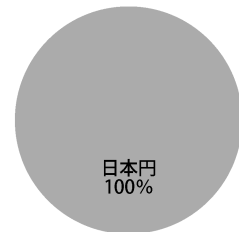
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注）比率は純資産総額に対する割合です。

（注）端数処理の関係で合計が100%にならない場合があります。

■純資産等

項 目	当 期 末
	2019年4月22日
純 資 産 総 額	45,812,235円
受 益 権 総 口 数	41,325,267口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額	11,086円

当期中における追加設定元本額は1,693,492円、同解約元本額は11,516,177円です。

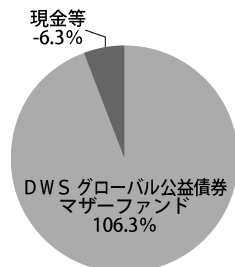
【Bコース（為替ヘッジなし）】 ■当ファンドの組入資産の内容

◆組入上位ファンド

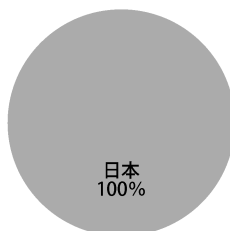
項 目	第7期末
	2019年4月22日
DWS グローバル公益債券マザーファンド	106.3%

(注) 組入比率は純資産総額に対する割合です。

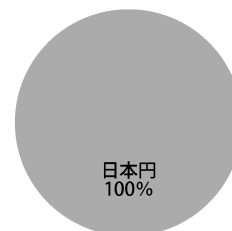
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 端数処理の関係で合計が100%にならない場合があります。

■純資産等

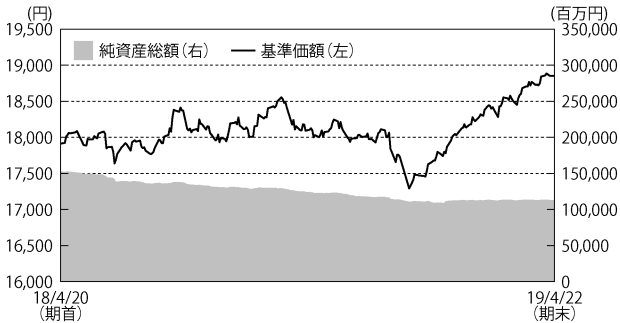
項 目	当期末
	2019年4月22日
純 資 産 総 額	13,520,441円
受 益 権 総 口 数	8,508,406口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額	15,891円

当期中における追加設定元本額は2,738,944円、同解約元本額は6,712,410円です。

■組入上位ファンドの概要

DWS グローバル公益債券マザーファンド (2018年4月21日～2019年4月22日)

◆基準価額の推移



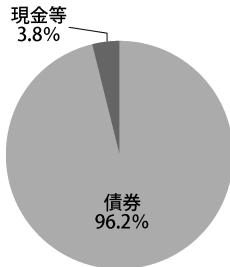
◆上位10銘柄

	銘柄名	国名	通貨名	比率
1	BRKHEC 6.25% 10/15/37	アメリカ	アメリカ・ドル	2.5%
2	KMI 6.95% 01/15/38	アメリカ	アメリカ・ドル	2.2%
3	DUK 6.4% 06/15/38	アメリカ	アメリカ・ドル	2.1%
4	BRKHEC 3.5% 02/01/25	アメリカ	アメリカ・ドル	2.0%
5	TRPCN 7.625% 01/15/39	カナダ	アメリカ・ドル	1.9%
6	D 7% 06/15/38	アメリカ	アメリカ・ドル	1.8%
7	ONCRTX 5.25% 09/30/40	アメリカ	アメリカ・ドル	1.5%
8	ENGIFP 2.875% 10/10/22	フランス	アメリカ・ドル	1.5%
9	ED 4.45% 03/15/44	アメリカ	アメリカ・ドル	1.5%
10	ETP 6.5% 02/01/42	アメリカ	アメリカ・ドル	1.4%
組入銘柄数			143銘柄	

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全
体版)に記載しております。

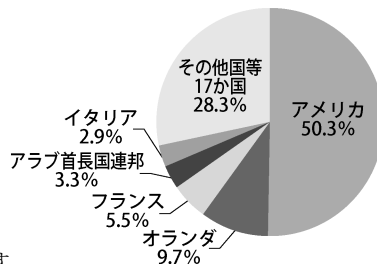
◆資産別配分



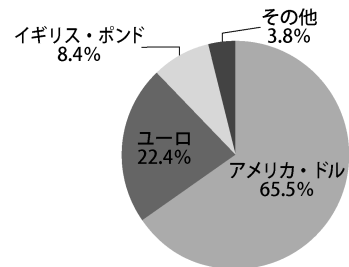
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 端数処理の関係で合計が100%にならない場合があります。

◆国別配分



◆通貨別配分



◆1万口当たりの費用明細

項目	当期 2018年4月21日～2019年4月22日		項目の概要
	金額	比率	
(a) 売買委託手数料 (先物・オプション)	0円 (0)	0.002% (0.002)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) その他費用 (保管費用)	2 (2)	0.014 (0.010)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(その他)	(1)	(0.004)	証券投資信託管理事務等に係る費用
合計	2	0.016	

期中の平均基準価額は18,078円です

(注) 期中において発生した費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(a) 売買委託手数料、(b) その他費用は、期中の各金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

(注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注) (b) その他費用(その他)にはマイナス金利に係る費用等を含みます。

■<ご参考> 用語の解説

用 語	内 容
運 用 報 告 書	投資信託がどのように運用され、その結果どうなったかを決算ごとに受益者（投資家）に報告する説明書です。この中では基準価額、分配金の状況や今後の運用方針などが詳しく説明されています。
ベビーファンドとマザーファンド	受益者（投資家）のみなさまが取得する投資信託（ファンド）を「ベビーファンド」といい、ベビーファンドの資金をまとめて実質的に運用するためのファンドを「マザーファンド」といいます。マザー（親）ファンドとベビー（子）ファンドによって構成されているため、ファミリーファンド方式と呼ばれています。
純 資 産 総 額	投資信託は株式や公社債等の値動きのある有価証券に投資します。この有価証券を時価で評価し、株式や公社債等から得られる配当金や利息等の収入を加えた資産の総額から、ファンドの運用に必要な費用等を差し引いた金額のことです。
収 益 分 配 金	投資信託の決算が行われた際に受益者（投資家）に支払われる金銭を「分配金」または「収益分配金」といいます。運用によって得た収益を分配するもので、株式の配当金に相当します。またファンドによっては分配金がその都度支払われるタイプと分配金を再投資するタイプがあります。
元 本 払 戻 金 (特 別 分 配 金)	受益者（投資家）が株式投資信託追加型の収益分配金を受取る際、収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額は「元本の一部払戻しに相当する部分」として非課税扱われます。これを「元本払戻金（特別分配金）」といいます。
基 準 価 額	投資信託の値段のことです。投資信託に組み入れている株式や債券などをすべて時価評価し、債券の利息や株式の配当金などの収入を加えて資産総額を算出します。そこからファンドの運用に必要な費用などを差し引いて純資産総額を算出し、さらにその時の受益権口数で割ったものが「基準価額」であり、毎日算出されています。
信 託 報 酬	投資信託の運用・管理にかかる費用のことです。信託財産の中から運用会社・信託銀行・証券会社など販売会社へ間接的に支払われます。その割合および額は目論見書や運用報告書の運用管理費用（信託報酬）の項目に記載されています。
騰 落 率	投資信託の過去の運用実績（基準価額の推移の動向）を示すもので、基準価額の変動と支払われた分配金を組み合わせて算出します。ある一定期間中に投資信託の価値がどれだけ変化しているかを表します。例えば過去3ヶ月、6ヶ月、1年等、一定期間に基準価額がどの程度値上がり（または値下がり）したのかを表しています。

出所：一般社団法人投資信託協会等

ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社
東京都千代田区永田町 2-11-1 山王パークタワー

<お問い合わせ先>

電話番号：03-5156-5108

受付時間：営業日の午前9時～午後5時

<https://funds.dws.com/jp/>

*お取引内容等につきましては、ご購入された販売会社にお問い合わせください。